



株式会社メニコン

2020年3月期 第3四半期決算説明資料

証券コード : 7780



決算のポイント

➤ 2020年3月期第3四半期 連結業績

売上高:前年同期比 **5.1%伸長** (増収)

メルス会員数 **132万人** に増加

売上総利益:製造原価の低減による原価率の改善 (増益)

原価率: 46.7% → **45.8%**

営業利益:製造原価低減による売上総利益の増加及び、
売上高販管費率の低下 (増益)

営業利益率: 7.4% → **9.6%**

2020年3月期 第3四半期連結業績サマリー

	2019/3期 第3四半期	2020/3期		百万円
		第3四半期	前年同期比伸長率	
売上高	60,265	63,344	+5.1%	
売上原価	28,156	29,019	+3.1%	
(原価率)	46.7%	45.8%	(△0.9pt)	
売上総利益	32,108	34,324	+6.9%	
販売費及び一般管理費	27,635	28,248	+2.2%	
(売上高販管费率)	45.9%	44.6%	(△1.3pt)	
営業利益	4,472	6,075	+35.8%	
(売上高営業利益率)	7.4%	9.6%	(+2.2pt)	
経常利益	4,418	5,994	+35.7%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,833	4,000	+41.2%	
1株当たり四半期純利益(円)	80.51円	111.78円	---	

連結売上高

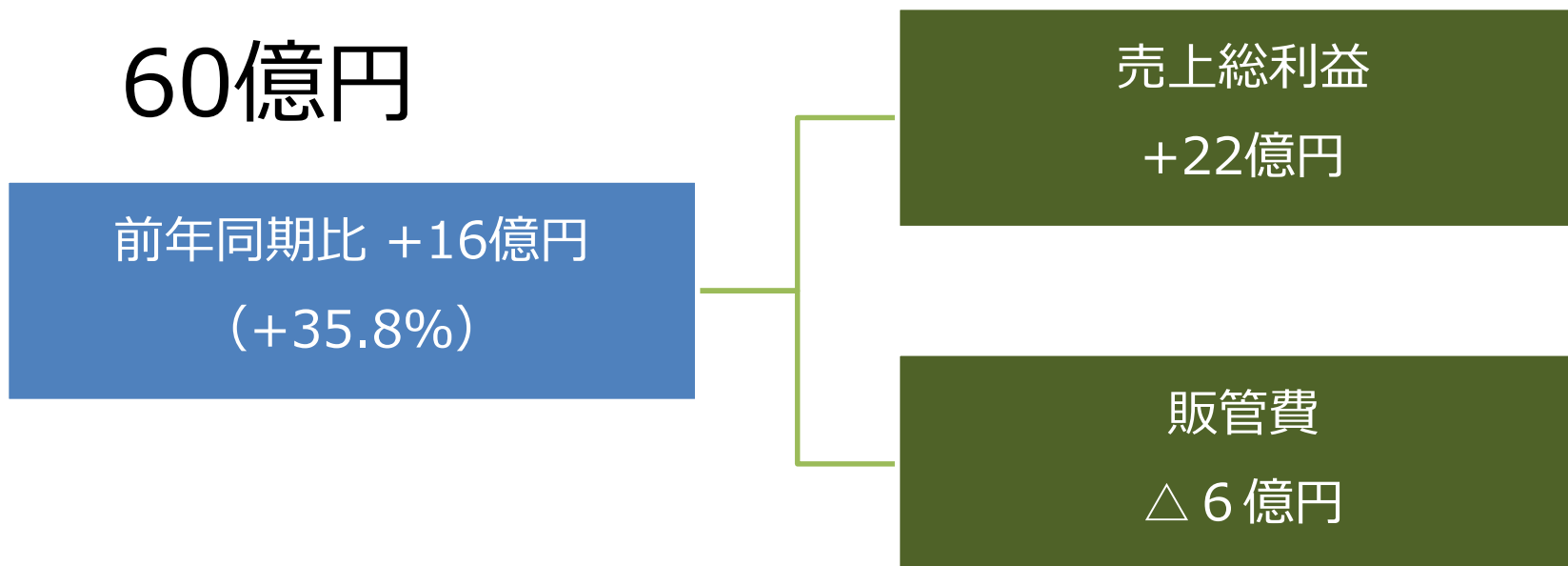
633億円

前年同期比 +30億円
(+5.1%)①メルスプラン売上
+17億円②コンタクトレンズ・
ケア商品売上
+12億円その他
+1億円

主な理由

- ①メルスプラン会員数の増加 (前年同期比+2%)
1 DAY会員の増加
- ②1 DAYレンズ及びオルソケラトロジーレンズの拡販

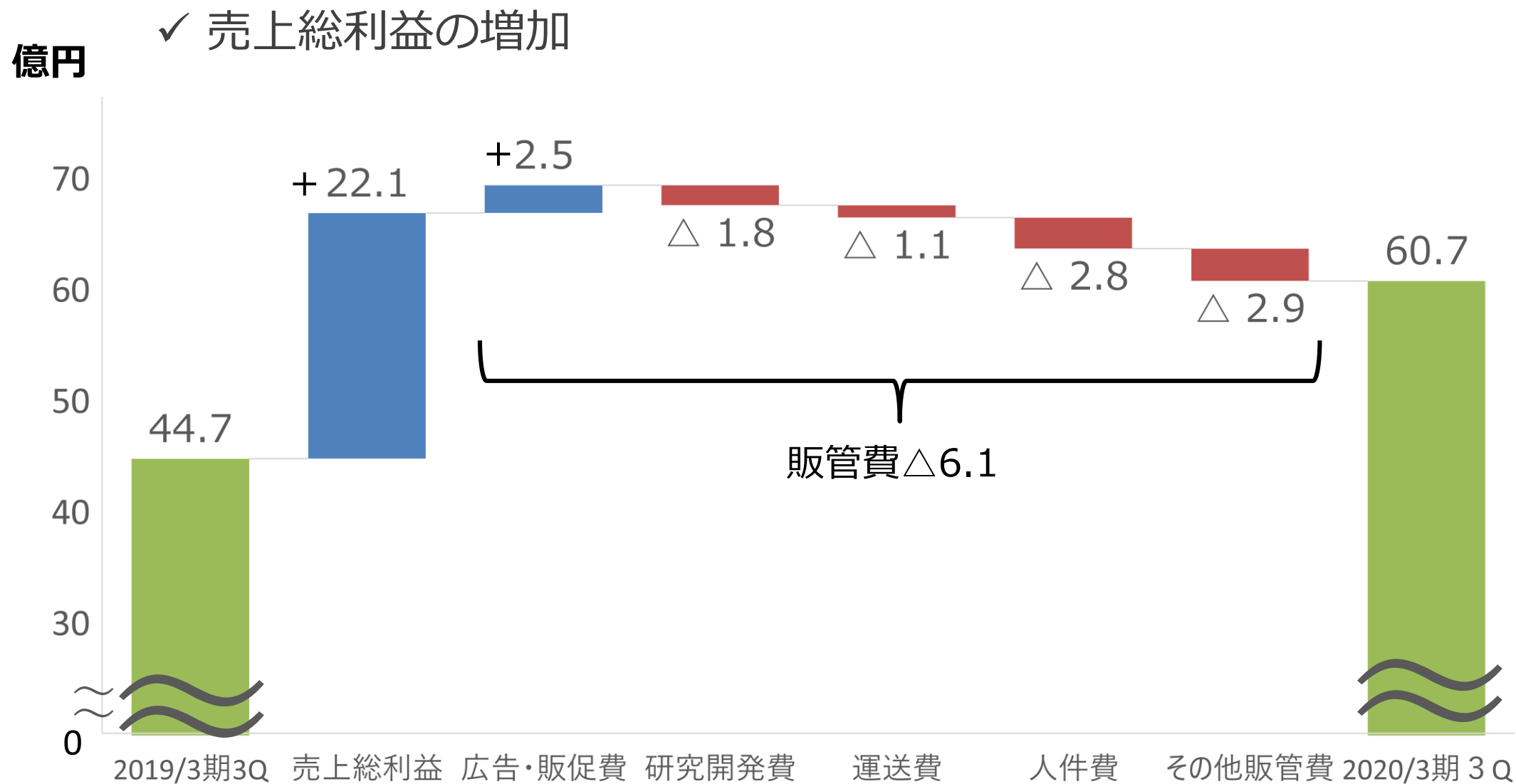
連結営業利益



主な理由

売上高増加と製造原価の低減による売上総利益の増加
売上高販管費率の低下

連結営業利益分析



売上高の内訳①

報告セグメント別等

百万円

		2019/3期 第3四半期	2020/3期	
			第3四半期	前年同期比
連結売上高		60,265	63,344	+5.1%
報告セグメント別	コンタクトレンズ 関連事業	59,163	62,105	+5.0%
	その他	1,101	1,238	+12.4%
製品及び サービス別	コンタクトレンズ ・ケア商品	28,433	29,718	+4.5%
	メルスプラン	30,277	31,990	+5.7%
	その他	1,554	1,635	+5.2%

※「その他」に新規事業を含んでいます。

製品及びサービス別 **コンタクトレンズ・ケア商品****297億円**前年同期比 +12億円
(+4.5%)①1DAY
+ 7 億円② 2 WEEK ・ 1 MONTH
+ 6 億円③オルソケラトロジーレンズ
+ 3 億円その他
△ 4 億円

理由

- ①国内・海外ともに販売が伸長
- ②日本での2 WEEK、欧米での1 MONTHレンズが伸長
- ③主に中国での販売が伸長

319億円

前年同期比 +17億円
(+5.7%)

① 1 DAY
+14億円

② 2 WEEK
+ 3 億円

理由

- ① 1 DAYが好調
- ② 2 WEEKメニコンプレミアムシリーズが堅調

売上高の内訳②

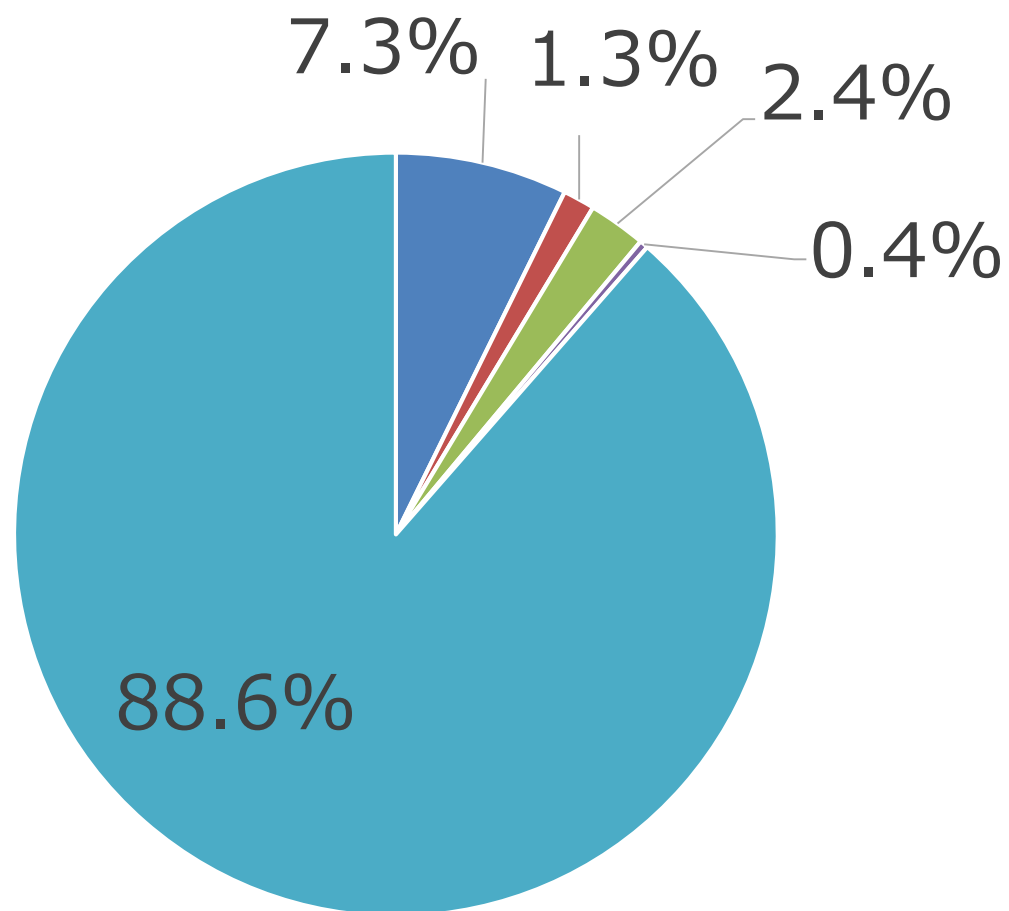
地域別

百万円

	2019/3期 第3四半期	2020/3期	
		第3四半期	前年同期比
連結売上高	60,265	63,344	+5.1%
国内売上高	53,379	56,098	+5.1%
海外売上高	6,886	7,245	+5.2%
欧州	4,732	4,618	△2.4%
北米	739	853	+15.4%
アジア	1,182	1,544	+30.6%
その他	231	230	△0.5%

※「その他」にオセアニア等を含んでいます。

海外売上高比率



海外売上高比率
11.4%

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア ■ その他 ■ 国内売上高

海外売上高

72億円

前年同期比 +3億円
(+5.2%)

①欧州

△ 1 億円

②北米

+ 1 億円

③アジア

+3億円

理由

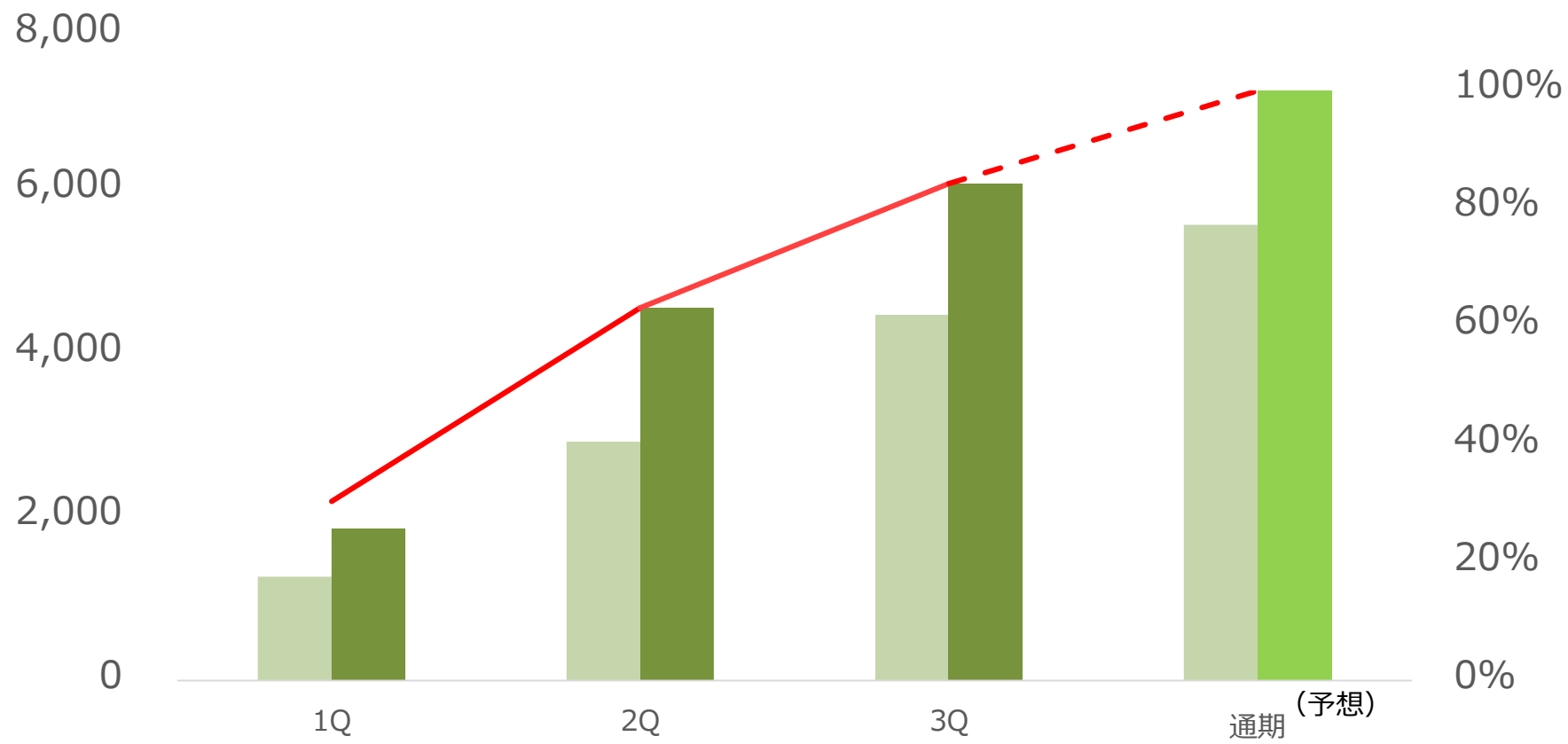
- ①円高の影響（現地通貨ベースでは伸長）
- ② 1 DAYの販売が伸長
- ③オルソケラトロジーレンズが堅調

連結業績進捗率

✓ 進捗率は堅調

営業利益（百万円）

進捗率



2019/3期営業利益
 2020/3期営業利益
 2020/3期進捗率

參考資料

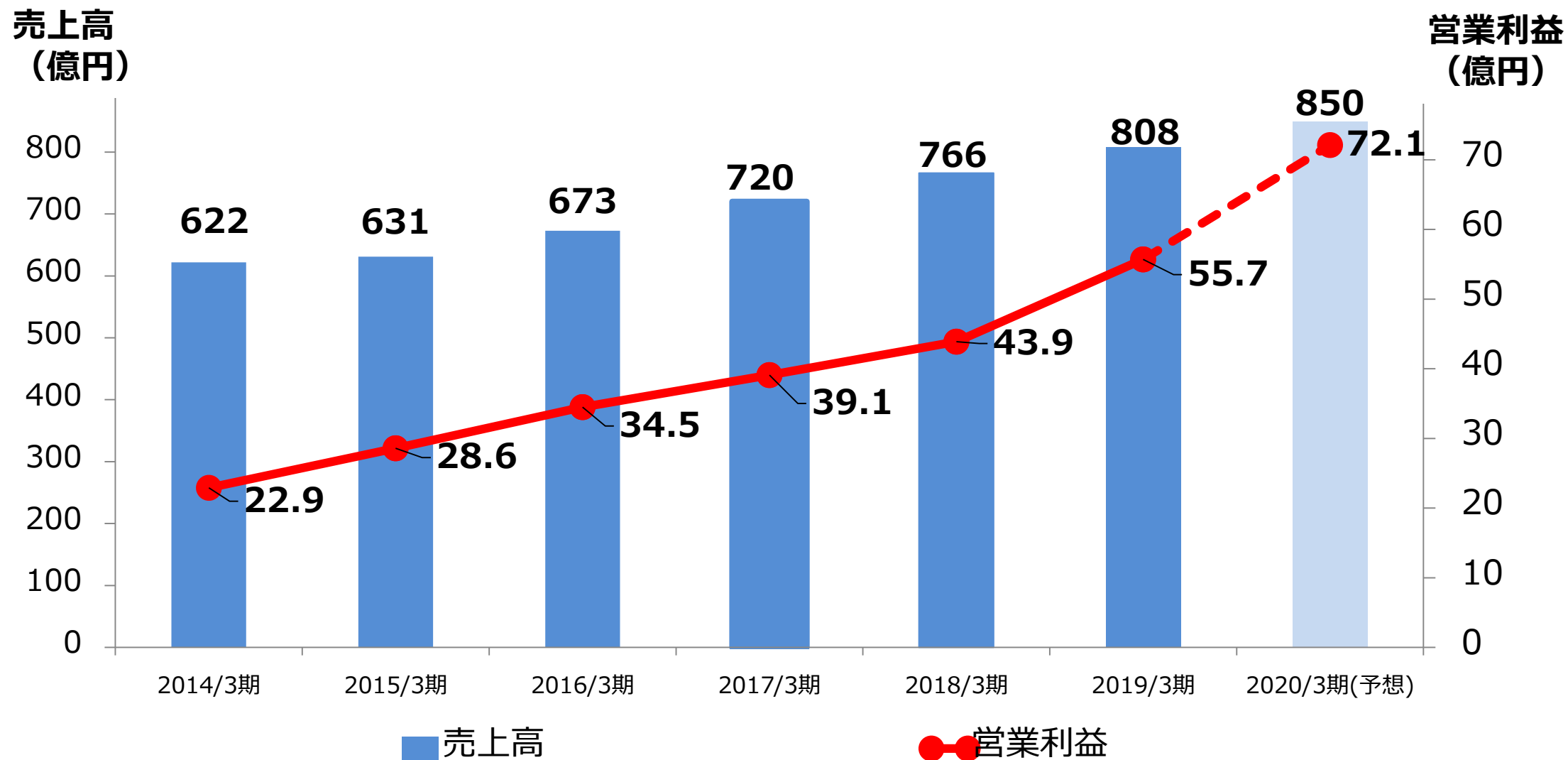


連結業績予想 (2019年11月12日発表)

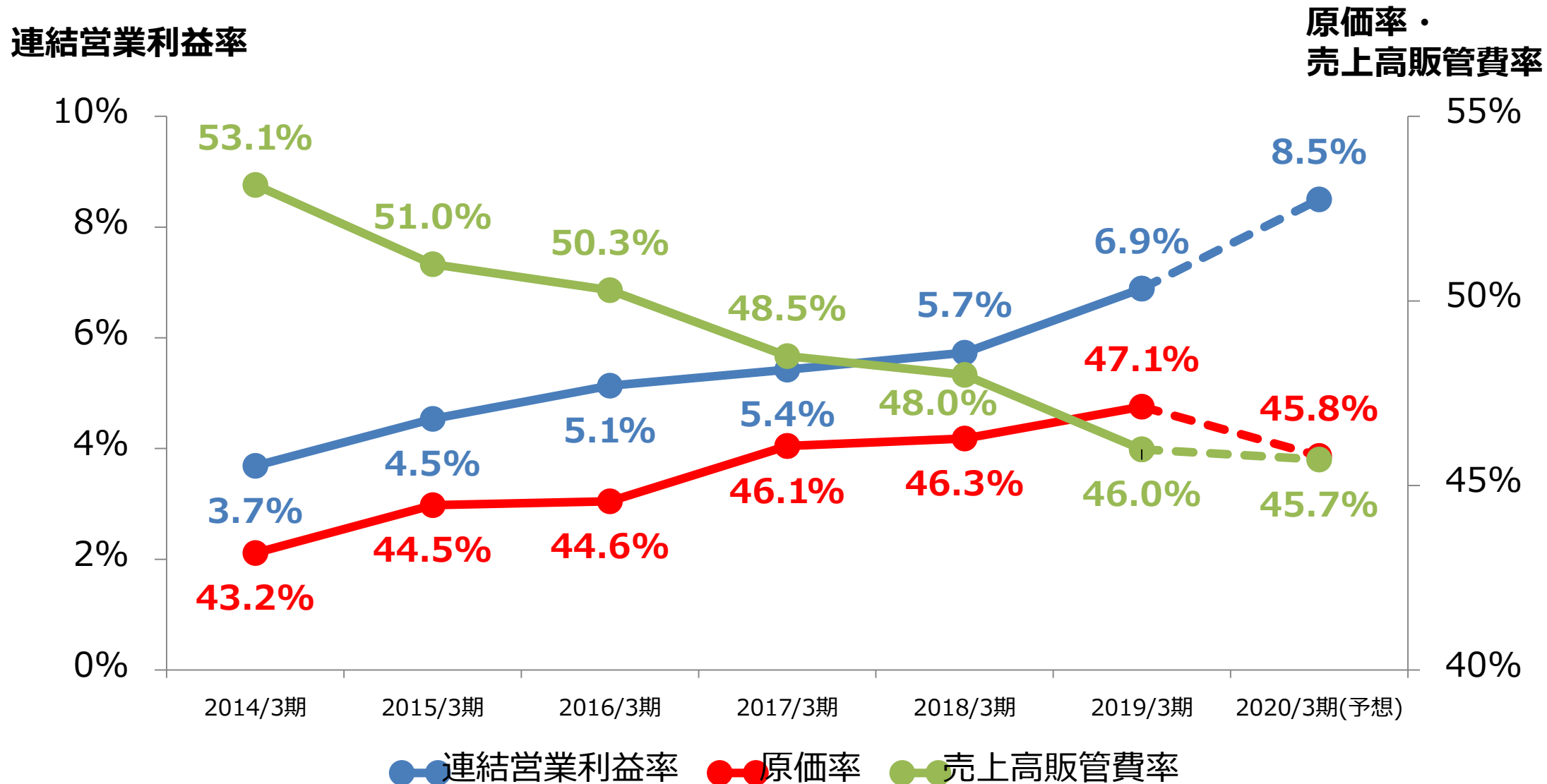
	2020/3期 期初予想		2020/3期 予想	差異	増減率
売上高	85,083		85,083	---	---
売上原価	39,883		38,997	△885	△2.2%
(原価率)	46.9%		45.8%	(△1.1pt)	---
売上総利益	45,199		46,085	+885	+2.0%
販売費及び一般管理費	38,696	⇒	38,873	+176	+0.5%
(売上高販管费率)	45.5%		45.7%	(+0.2pt)	---
営業利益	6,502		7,211	+709	+10.9%
(売上高営業利益率)	7.6%		8.5%	(+0.9pt)	---
経常利益	6,488		7,197	+708	+10.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,091		4,500	+408	+10.0%
1株当たり 当期純利益	116.12円		124.40円	+8.28	---

百万円

連結売上高・連結営業利益推移

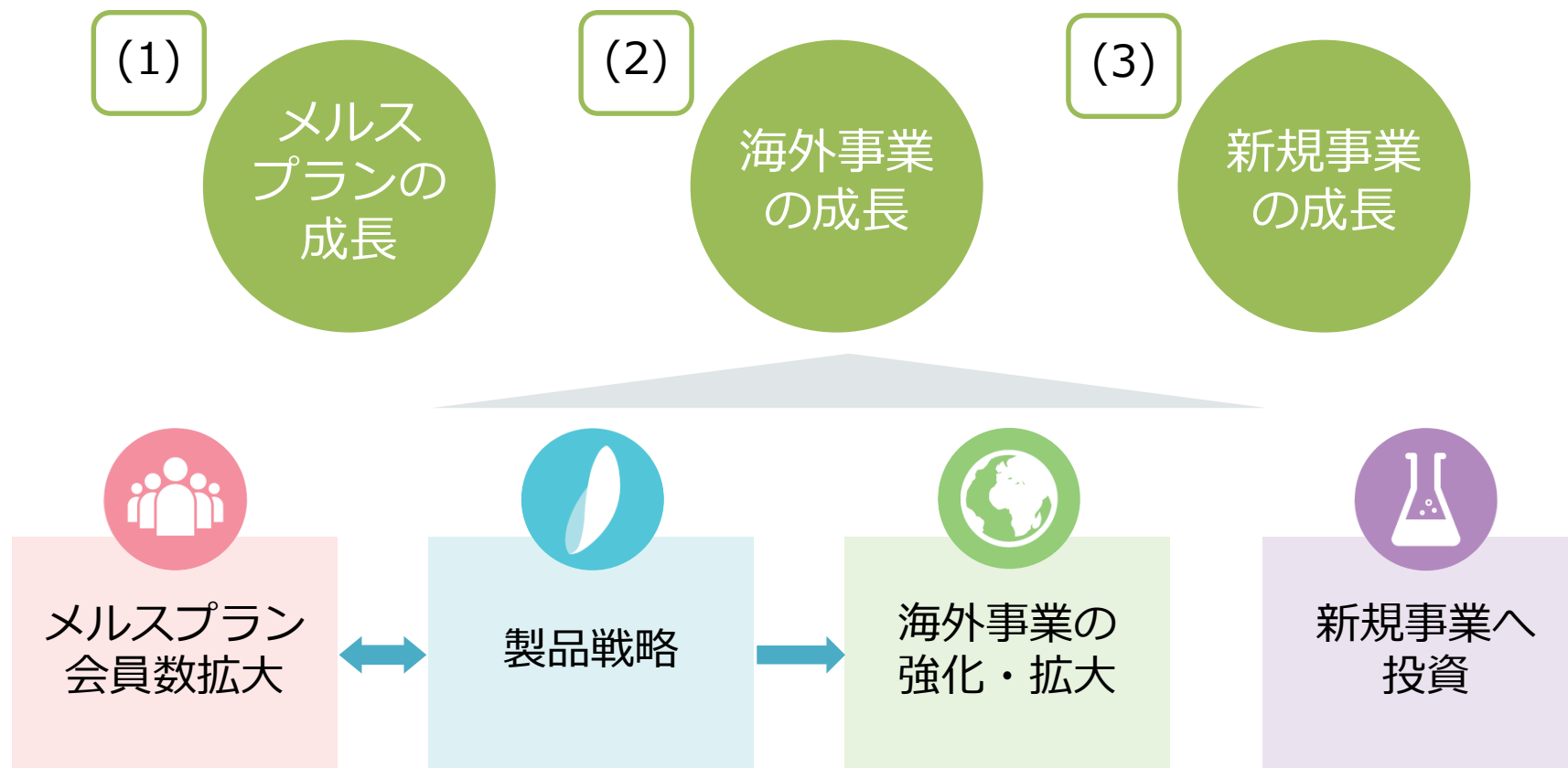


原価率・売上高販管費率・連結営業利益率推移



中期計画 Vision2020

売上高1,000億円、営業利益率10%の実現へ

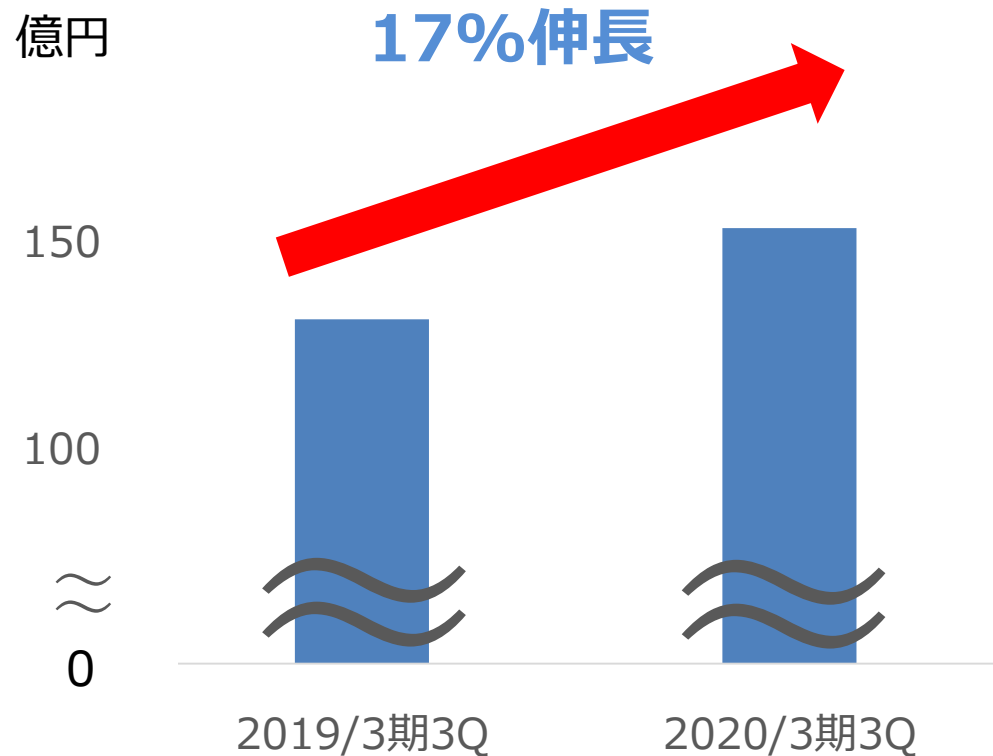


Vision2020 : 2021年3月期の達成目標

(1) 1 DAYコンタクトレンズ

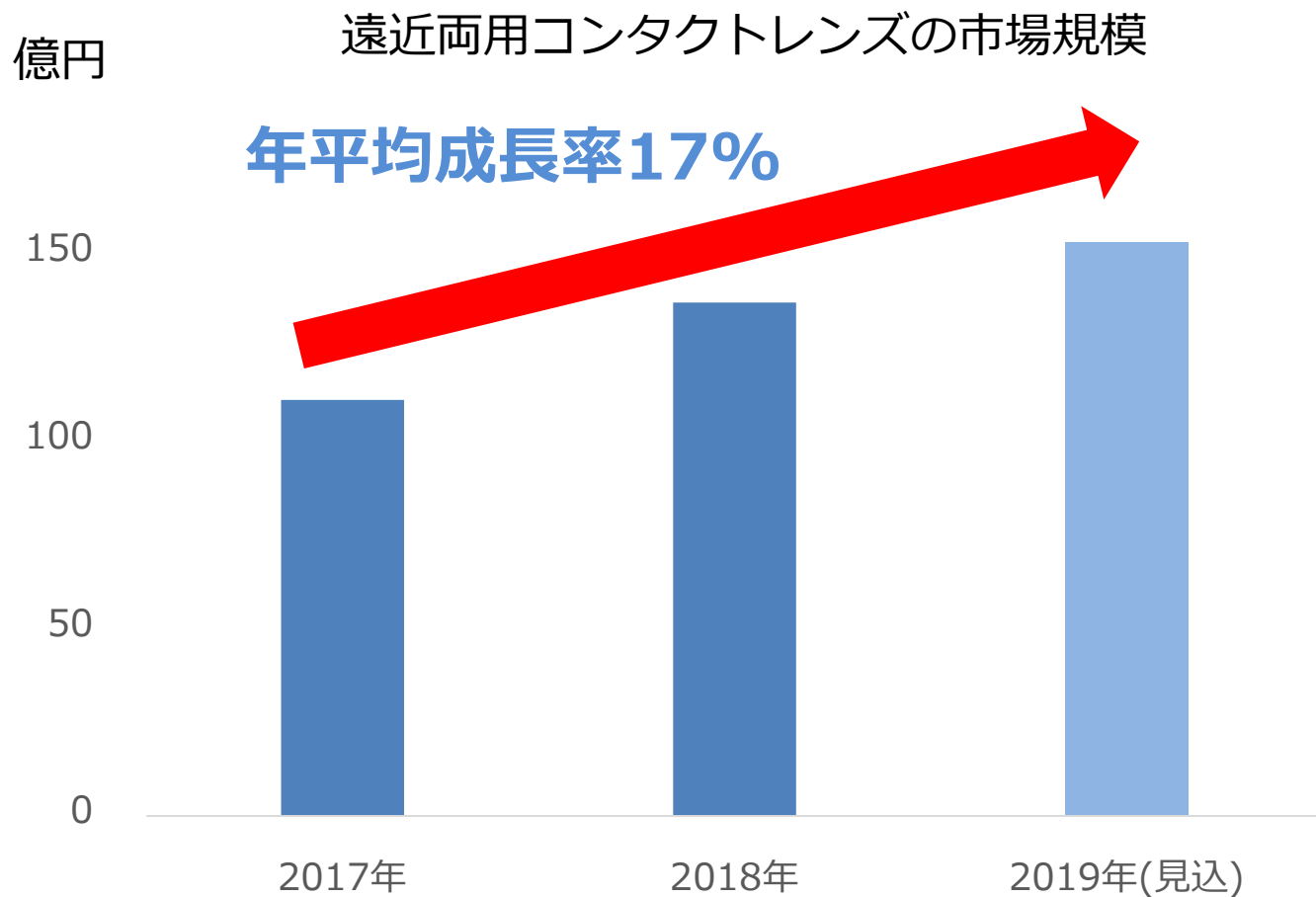
✓ 1DAY売上高の成長

1DAY売上高（メルス+物販）



(1)定期交換型 遠近両用ハードコンタクトレンズ

- ✓ 遠近両用市場の更なる開拓



伸長している遠近両用市場へ
新カテゴリーレンズ導入



3ヵ月定期交換ハードコンタクトレンズ
フォーシーズンバイフォーカル

出典：矢野経済研究所

(2)海外事業 グローバルネットワーク

✓ 2019年10月よりSOLEKO（イタリア）がグループに加入



(2)海外事業 欧州 イタリア

✓ イタリア:欧州第2のディスポーザブルコンタクトレンズ市場開拓



Miru 1 DAY



Miru 1 Month

メニコン

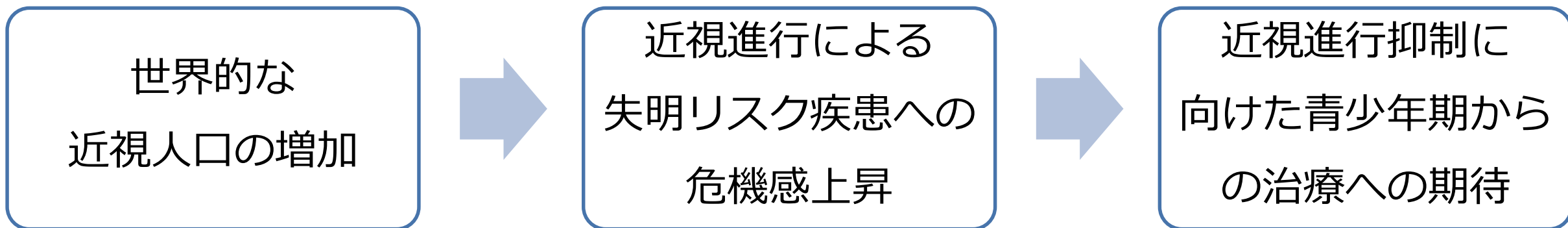
- 充実した製品ラインアップのディスポーザブルコンタクトレンズ

SOLEKO

- イタリア市場で**販路・認知度**を保有
- ケア用品→メニコングループで販売

相互の長所を生かした強カタッグ

(2) 近視進行抑制研究への取り組み



コンタクトレンズを活用した
近視進行抑制研究を推進

(2) 近視進行抑制研究への取り組み

- ✓ 日本・オランダに拠点をもち、特色を生かして事業展開



● オランダ
(Menicon B.V.)



● 日本
(アルファコーポレーション)



- 学術的な信頼の獲得
- ・ 欧州CEマーク取得
 - ・ 米国FDA承認取得
 - ・ 研究への取り組み

- 高品質・高性能なマルチ焦点レンズの供給
- ・ 中国におけるシェア拡大
 - ・ アジア地域の販売地域拡大

(2)近視進行抑制システムの導入

- ✓ 近視進行抑制事業のブランド「メニコンBLOOMシリーズ」

商品名	レンズカテゴリー
Menicon Bloom Night	オルソケラトロジーレンズ
Menicon Bloom Day	ワンデーコンタクトレンズ (多焦点レンズ)

欧州の主要市場にて2020年より本格導入へ

(3)新規事業

✓ より高性能な新商品、新サービスをリリース

ライフサイエンス事業

サプリメント

「プラリエ」
オンライン販売開始
2019年12月



「ルナリズム ラクトフェリン」
販売開始
2020年1月



メニワン

犬用眼内レンズ
「メニワンX (テン)」
新発売
2020年2月



免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2020年2月13日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務 & IR 部

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

